

1 中校区小中一貫校整備事業 74 億円 入札参加は 1 者のみ、落札率 99.68%

施設一体型小中一貫校の整備事業を落札したのは、戸田建設グループ（戸田建設・石本建築事務所・シードコンサルタント特定建設工事共同企業体）で、契約金額は74億7010万円です。入札に参加したのは1者のみで予定価格（74億9347万5千円）にたいする落札率は99.68%と非常に高くなっています。

競争性が確保されていたのか

今回の契約は、実施設計・施工を一括で発注するDB（デザインビルド）方式で、基本設計は先行して終了しています。基本設計を行った（株）石本建築事務所が、今回落札した共同企業体に参加しており、競争性が確保されていたのか疑問が残ります。

12月議会で、一中校区の小中一貫校（仮称交野みらい学園）整備の事業者の契約が提案されました。12月15日の総務文教常任委員会の審議では、日本共産党をふくめ3名が反対しましたが、賛成多数で可決。12月22日の本会議で採決が行われます。

かたの民報

2021年12月17日

NO. 1749

【発行】

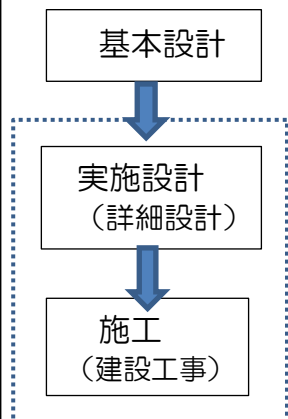
日本共産党
市会議員団

ご相談は市役所
議員団控室へ

私部 1-1-1

☎892-0121
(内線 301)

事業の流れ



今回の契約は実施設計・施工の一括発注。基本設計は先行して終了。

全国的には、公平性の担保のため、基本設計の事業者は、実施設計・施工一括の入札には参加できない規定を設けている事例が多数です。しかし、今回は基本設計の事業者も入札に参加できる規定になっていました。市は、「基本設計の事業者は事業者選定支援業務には関与していない」「他の

事業者にも、基本設計書など同等の情報を事前に公表した」ので「適正な手続きだった」としています。15日の総務文教常任委員会で藤田議員は、「公平な競争性の確保のためには、基本設計の事業者は除外すべきだった」と指摘しました。また、入札の審査基準等を決める「総合評価落札方式

基本設計事業者が、実施設計・施工にも参入

審査委員会」の委員に、落札事業者と他業務等に関わる職員が入っているなど透明性の確保が不十分であること、事業者の加点審査の点数が50点満点中25・28点と低い問題などを指摘し、反対しました。

委員会での反対は、藤田議員（共産党）と松村議員、山本議員。賛成は岡田・臼口議員（維新の会）と三浦・中谷議員（公明党）で可決（久保田議員は委員長のため採決に加わらず）。12月22日に本会議での採決が行われます。（裏面へ）



さらがい ふみ
星田 7-44-21
☎894-2835



藤田 まり
私部西
2-16-13-310
☎397-3027



北尾 まなぶ
倉治 7-8-7
☎893-3163